

アクサ生命 PRESS RELEASE

2015年10月26日

国際糖尿病啓発活動、「世界糖尿病デー」へ4年連続で協賛

アクサ生命保険株式会社(本社:東京都港区、代表執行役社長兼 CEO:ジャック・ドゥ・ペレティ)は、糖尿病の脅威の認知・正しい知識の啓発ならびに合併症予防の啓発を支援するため、2015年11月14日に開催される「世界糖尿病デー」に4年連続で協賛します。

糖尿病は世界で約3億8,670万人が抱える病気で、20~79歳の成人の12人の1人が糖尿病有病者と推定され、有効な対策を施さないと、2035年までに5億9,190万人に増加すると予想されています。日本の成人糖尿病人口は721万人で、世界で10番目に多い国となっています。^{※1}

「世界糖尿病デー」は、糖尿病に対する認知向上を目的として国際連合が定めたもので、毎年11月14日に国連および主要国でさまざまなイベントが開催されます。日本では(一社)日本糖尿病学会および(公社)日本糖尿病協会が中心となって組織された「世界糖尿病デー実行委員会」が、日本各地の建造物を糖尿病撲滅のためのシンボルカラーである「ブルー」にライトアップするなど、さまざまな啓発運動を行います。

アクサ生命は人々を糖尿病から守りたいと考え、業界に先駆けて2012年7月に糖尿病の早期治療・重症化防止をサポートする無料の付帯サービス「アクサの糖尿病サポートサービス^{※2}」を導入以来、「糖尿病検査キット」の導入や全国の地方新聞社・放送局との糖尿病予防・重症化予防キャンペーン、(公社)日本糖尿病協会主催「チャレンジ!糖尿病いきいきレシコンテスト2015」への協賛など、糖尿病の予防・治療に関するさまざまな取り組みを行っています。

<関連ウェブサイト>

世界糖尿病デー 公式ホームページ <http://www.wddj.jp/>

※1 出所:国際糖尿病連合 糖尿病アトラス 第6版 2014 UPDATE

※2「糖尿病サポートサービス」は、ティーベック株式会社が提供します。このサービスはアクサ生命が提供する保険商品の一部を構成するものではありません。

アクサ生命について

アクサ生命は AXA のメンバーカンパニーとして 1994 年に設立されました。AXA が世界で培ってきた知識と経験を活かし、228 万の個人、2,200 の企業・団体のお客さまに、死亡保障や医療・がん保障、年金、資産形成などの幅広い商品を、多様な販売チャネルを通じてお届けしています。2014 年度には、2,813 億円の保険金や年金、給付金をお支払いしています。

AXA グループについて

AXA は世界 59 ヶ国で 16 万 1,000 人の従業員を擁し、1 億 300 万人のお客さまにサービスを提供する、保険および資産運用分野の世界的なリーディングカンパニーです。国際会計基準に基づく 2014 年度通期の売上は 920 億ユーロ、アンダーライニング・アーニングス(基本利益)は 51 億ユーロ、2014 年 12 月 31 日時点における運用資産総額は 1 兆 2,770 億ユーロにのびます。AXA はユーロネクスト・パリのコンパートメント A に上場しており、AXA の米国預託株式は OTC QX プラットフォームで取引され、ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス(DJSI)や FTSE4GOOD などの国際的な主要 SRI インデックスの構成銘柄として採用されています。また、国連環境計画・金融イニシアチブ(UNEP FI)による「持続可能な保険原則」および「責任投資原則」に署名しています。

~本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします~

アクサ生命保険株式会社 広報部

電話:03-6737-7140 FAX:03-6737-5964

<http://www.axa.co.jp>